

安全報告書

平成22年4月

ごあいさつ

わたらせ渓谷鐵道は、平成元年にJR足尾線を引き継ぎ、第三セクターの鐵道会社として出発し、平成21年3月に開業20周年を迎えました。これまで育てていただいた多くの皆様に心から感謝申し上げます。

当社は、「安全で安定した輸送」を最重点の目標とし、法令の遵守と危機管理体制を強化し、更なる安全性の向上を図ってまいります。

第三セクタ - 鐵道を取り巻く環境は、日々厳しさを増しておりますが、積極的な事業展開を図り、将来にわたって安定的な鐵道運営が継続できるよう努力していく決意であります。

わたらせ渓谷鐵道株式会社
代表取締役社長 樺澤 豊

1 安全に関する基本方針

(1) 基本方針

輸送の安全確保は、鐵道事業に携わる当社にとって基本的な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識のもとに当社の事故防止活動は、他社の事故例も生かしながら、改めて「意識した指差確認喚呼」、「安全基本ルールの厳守」に社長以下全社員で取り組みます。

(2) 目標

運轉事故など大きな事故を絶滅するとともに、お客様に迷惑をお掛けする輸送障害についても、極力防止することを目標とします。

(3) 重点実施項目

目標を達成するため、次の項目について取り組みます。

- ・ 安全管理体制の確立
社長の強力なリーダーシップのもとに、現場の情報、課題を把握するとともに、現場にフィードバックする体制を構築し、各部門が行う事故防止活動の実施状況を点検しながら推進します。
- ・ 教育、訓練の充実
知識・技能教育を引き続き実施して技術力の強化を図るとともに、突発的事故等異常時の取扱い実技訓練を充実して実践力の向上を図ります。
- ・ 車両、設備の故障防止
計画的保守管理の強化を図るとともに、更新修繕、重要部品の計画的取替を促進します。
- ・ 自主的な事故防止活動の推進
あらゆる機会を通じて、自主的な事故防止活動を積極的に推進します。

2 平成21年度運転事故・輸送障害発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害(列車が30分以上遅れたもの)	
	衝突、脱線、踏切事故など	設備・車両等の故障によるもの	雨などの自然災害によるもの
18	0	5	3
19	0	3	4
20	0	2	7
21	0	5	5

3 平成21年度安全対策実施状況

項 目		施 行 箇 所	工 事 費(千円)
線 路 施 設	落石等防護設備(防護ネット)	大間々～上神梅間8k721付近	1,970
	落石等防護設備(土留め)	小中～中野間19k897付近	3,951
	落石等防護設備(土留め)	中野～小中間21k559付近	5,717
	落石等防護設備(土留め)	沢入～原向間32k986付近	5,586
	トンネル改良	神戸～沢入間草木トンネル	27,203
	レールの重軌条化	運動公園～大間々間5k100付近	2,849
	レールの重軌条化	大間々～上神梅間8k300付近	3,303
	計		50,579
そ の 他	ATS-P搭載車両新造		121,000
	踏切保安設備改良	大間々駅構内高津戸踏切	8,014
	計		129,014
合 計			179,593